

2022年 春の特別展

# 谷崎とおんな 谷崎のおんな

Tanizaki with The Women

～ 女性に縁どられた文豪 ～

2022年4月2日(土)～7月24日(日)

谷崎潤一郎は、明治19(1886)年に生まれ、昭和40(1965)年、79歳で世を去る。

その人生の道のりを、様々な女性たちが行き交っていった。終生のあこがれだった美しい母、三人の妻たち、お気に入りだった女優…。

作品のモデルとなった女性も多い。

数々の女性たちによって縁どられた、花やかな文豪の肖像をご覧いただきたい。

## 春の特別展 展示資料紹介①



根津松子肖像写真  
昭和9(1934)年頃

芦屋打出の家の前で撮られた一枚。後に谷崎最後の妻となる松子だが、当時は大阪船場の本店「根津商店」に嫁いでいた人妻であった。谷崎の方も二人目の妻との縁は切れておらず、おたがいに人目を忍んで芦屋での同棲生活を始めたのだった。

最初の妻千代との折り合いが悪かった谷崎は、彼女の妹で奔放な性格のせい子に次第に傾倒。自分が脚本を書いた映画に、彼女を女優としてデビューさせたりもした。このせい子こそが、「痴人の愛」のヒロイン「ナオミ」のモデルである。



「痴人の愛」初版本  
大正14(1925)年刊

## 春の特別展 展示資料紹介②

### 学芸員が語る春の特別展

#### 「谷崎とおんな、谷崎のおんな ～女性に縁どられた文豪～」

谷崎潤一郎の生涯を行き交っていった数々の女性たち。彼女たちと文豪の人生とのかかわりや、その作品世界との関係性をわかりやすく解き明かす。

- 会 期 / 2022年5月29日(日) 午後2時～3時
  - 場 所 / 当館講義室
  - 定 員 / 20名(要予約)
  - 持ち物 / 筆記用具
- ※入館料のみで受講いただけます。



谷崎潤一郎  
昭和24(1949)年頃

### ロビーパネル展

#### 「潤一郎人間まんだら」

関東大震災で関西へと逃れたこともあり、文壇とはかかわりの薄かった潤一郎。その一方で、多彩な人々との交わりがあった。文豪谷崎をめぐる人間模様を、写真でひも解く。

- 会 期 / 2022年4月2日(土)～7月24日(日)
- ※入館料のみで御覧いただけます。



六代目尾上菊五郎と谷崎  
昭和22(1947)年  
京都四条の料亭「ちもと」にて

## 芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 TEL.0797(23)5852 FAX.0797(38)3244  
E-mail : ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp ホームページ : <https://www.tanizakikan.com>

●休館のご案内……………2022年7月25日(月)～2023年3月31日(金)まで、当館は「機械設備等改修工事」のため、休館予定です。  
(2023年4月上旬 開館予定)……………休館中の活動や、改修後の開館予定などは、ホームページ・SNSで詳細を更新予定ですので、ぜひチェックしてください。